

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

冬季号



# 日本アシュラム

WINTER 1989

United Christian Ashrams of Japan

65

開 心 ・ 静 聴 ・ 充 満 ・ 献 身 ・ 奉 仕

▼連盟は創始者の祈りによつて、  
りであつて、常に新しい地区  
(単位)の参加を期待している。



九州アシュラム 山 本 繁 夫

## なぜ、アシュラムか

— 日本伝道進展の道 —

九州アシュラムは、スタンレー・ジョーンズ先生が日本に見える度毎に開かれ、先生が見えない時も、先輩の方々の助言を得て継続されてきました。今年で二十三回になりました。

「イエスは主なり」

との信仰告白に導かれ、喜びと聖霊に充ちあふれて、自分の属する教会に帰り、熱心に祈り、奉仕するものに変えられるのです。牧師の方々も教会でアシュラム形式をとり入れたり、近くの幾つかの教会と協力して、地区アシュラムを開くようにしておられる方もおられます。

私もアシュラムで、生ける主との出会いを確信しつつ、毎日の祈りに恵みを得、喜んで伝道、教会に専念してきました。

ここで私はアシュラムにおいて行われるプログラムを詳解させていただきます。

### 開心の時

これは「何のためにアシュラムに参加しましたか」との問いに対する

答えを一人一人から聞く時です。「私は何年も教会に奉仕して来ましたが、喜びも力もない日々です。もっと聖霊と力に満ちあふれる器とならせて頂きたい」「私は病気をもっていません。苦しんでいるのです。癒して頂きたい」等と真剣な要望が、全員の口々をついて出るのであります。正に「開心」とは口を開くことからなされるのであります。

### 静聴の時

次に静聴の時があります。これは決められた聖書の箇所を、祈り心をもって読むのです。読むというより「聖書に聴く」というのが適切でしょう。現今、信徒や牧師方で、聖書を読む方は多いが、「聖書に聴く」方は少ないのではないのでしょうか。たしかに文字になっていて聖書であるから読むのですが、祈りをもって謙遜になって、批評することも止めて、聞くようにする時、主は語り掛けて下さるのです。その時、もって来た諸問題に対して、解決の光が当てられるのです。

### 恵みの時

恵みの時

聖書を精読して、そこで受けた恵みを証しするのです。決して人に教えるために語ってはなりませんし、間違っている証しがあつたとしても決して、正そうとしないでもいいのです。教師は聖霊なるお方ですから、人からでなく、聖霊は教えて下さるのです。ここで教会や人々への批評があつてはいけません、よしあつたとしても、決して、他言してはならないのです。この恵みの時は十名内外のファミリー(九州アシュラムでは「祈りの細胞」のことを「ファミリー」と呼んできました。)に分かれて、座長によって進められるのですが、みんなが互いに、祈り合う姿は美しいものです。

### 連鎖祈禱

夜半も継続して祈るのです。この時こそ祝福の時であり、生けるキリストとの出会いの時でもあります。

### 日本の教会の強化

スタンレー先生はよく言われました。キリスト教は、教えではない、「生けるキリスト」だ。日本伝道の進展しない理由の一つに、このことが上げられるのではないのでしょうか。生けるキリストを体験し「わたしはキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、わたしではない。キリストがわたしのうちに生きておられるのである。」(ガラテヤ二章一九—二〇)

理事長 海老沢 宣道  
編集人 淵江 淳一郎  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部 60円  
〒60円

# 初代理事長召天十周年に際し 高瀬恒徳師父を偲ぶ

海老沢 宣道

高瀬恒徳先生が一九七八年十月二日(日)夕刻に天の召しを受けられたから、今年丁度満十周年を迎え、去る十月十六日の聖日午後、先生が伝道師時代から名譽牧師になり召天されるまで六十年間の長期にわたり奉仕された聖テモテ教会主催の記念礼拝と師父を偲ぶ会とが盛大に催され、招かれて参列した。この第二部の偲ぶ会では計らずも主賓席に案内され、先生が指導に当られた東大生寮(同志会)の代表、石館博士の次に、感話を述べる機会を与えられた。

スタンレー・ジョーンズ博士が戦後の荒廃せる日本を救うため、二年おきに来日、全国巡回伝道をされたが、その四回目的際、初めてアシュラムを天城山荘で守られた時から熱心な助言者の一人として奉仕、NC Cがこの運動の世話をしなくなった第十回目から中央委員長を引受けて下さり、続いて博士が帰国後、その希望により組織された日本クリスチャン・アシュラム連盟の初代理事長として一方ならぬ御奉仕を頂いた。アシュラムが「イエスを主とする」静かなりバイブルであることを大いに喜び、この超教派的な祈禱生活運

動に心血を注いで下さったのである。先生は生来の詩人であり思索家であつた。山村慕鳥と親交をもち、若くして詩集「黎明の黙禱」を出版、次でキーブルの宗教詩「教会歴詠」を訳出された。78才になつて詩集「葡萄園」を、85才で「懐しいキリスト者詩人たち」87才の時、詩集「草原無門」、89才一時退院された時に、寺井俊健兄の努力で日課文を編集、「永遠への序曲」と題して刊行された。晩年の健筆ぶりには頭が下る。

戦後間もない頃、諸先生を招き、キリスト教文書講習会を毎年夏期にNC C文書事業部で開催したが、早天礼拝で高瀬先生の詩篇の霊解を伺った印象が強く今も心に残っていることを述べたが、計らずもこの偲ぶ会出席者一同に和子夫人から立派な遺著「旧約詩篇の黙想」が恵与されて感謝に耐えない。

先生がNC Cのアシュラム委員になられたのは昭和38年、連盟結成の47年に理事長になられ、健康の理由で51年に辞任された87才まで十三年間、有力な助言者として全国的に活躍され、旅先で不快となられて和子夫人が駆けつけたこともあつた。私

はこの偲ぶ会に出ることにした前日、曳出しの中に先生から頂いていた書簡を発見した。それは苦しい脊椎骨症で病臥中の昭和52年夏、小康を得た時、「四月以来最初の執筆です。」とあり、大患の中でも常にアシュラムのために祈つて下さつたことを再読して感泣した。そして聖公会から自分の後継者として三名を推薦すると、寺井兄、他の一人一人について紹介され、「小生回復の見込みは十分、また参出の上先輩諸氏の活躍の素晴らしさに関わらして貰いたいと存じます。」と結ばれているが、遺憾乍ら入退院を繰返し、遂に翌年の仲秋に89才を以て就眠された。

スタンレーと同じく60年を主に仕え、同年の89才で帰天された師父を私は「日本のスタンレー」と評していたが、同志会の寮生たちは若い頃の先生が相当頑固であつたと言う。然しお年を重ねるにつれ円満温厚、柔和謙遜の師父と仰がれるに至つたのは、イエスの一切を明け渡し、絶体服従の信仰生活に進まれたからであらう。ある信徒が「聖公会にはハイとロウ二派あると聞くが、先生はどちらですか」と聞いた時、「私はどちらでもない。プロードの立場だよ」と答えられた。私はあるアシュラムで先生と同室になつた時、いつも携帯の大型聖書を枕にして熟睡されるのを見て驚いたが、就寝中も聖

書を土台として生きる主の僕であるのだと敬服した。

先生の信仰は本紙の第一号、第七号、第十五号の貴稿によって十分に示されていると思う。

尚、先生の遺著「旧約詩篇の黙想」を希望される方には取次ぎますから、目黒区の本連盟事務局あて、定価一二〇〇円、送料二五〇円を加えて御注文下さい。

**最新刊好評**

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作  
忽ち世界各国でベストセラーになった  
**インド途上のキリスト**

金井為一郎元訳 洲江淳一新訳  
美装幀 B6判 250頁 価1900円 千250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であつたか。

『イエスは主である』

マ書十章九節

アシュラムの五大原則  
(一) キリストへの明渡し

海老沢宣道著  
好評・再版出来  
『アシュラムの原則と実際』

### 関東アシユラム報告

安行教会

向山 自助

第26回関東アシユラムは大きな主のみ恵みの内に終りました。初むにの方も多いのに拘らず、50数名でした。色々の障害がありますが、風邪の威力も大きかったようです。

会場の奥多摩福音の家は自然環境が良く、此処が東京都かと思われる程です。毎度の会場で使用するのに都合よく、便利で便宜も計っていただけのです。来年も此処を予定させていたいです。

昨年は内部で奉仕しましたが、今年には外部から助言者を迎えました。大阪、堺市の泉北ニュータウン教会牧師土山牧慈先生です。始めは福音の時の予定でしたが、打ち合せをしている内に全般に渡って助言をいただき、実際には「讚美と証」の時間にも特別に証を御願うすることになりました。

福音の時は要旨がコピーされており濃のある内容で第一回はコリント人への第2の手紙5章13-15節、強く迫るキリストの愛。第二回は同5章16-27節、キリストにある新しい理人で、キリストの贖罪愛の福音の理

解、生活を改造する力たる贖罪愛を教えられ、キリストにある新しい人として、更に新しい生活への出発をキリストもそうであられたように、羊飼いとて、羊のところに天幕を張り、迷える羊のところ迄探しに行く者でありたい。イエスを主とし、イエスを愛する者として、イエスに似る者にならなければならぬ。

ケルケゴールの言葉や、少女のジュースのサービスの例話で時間がまだまだ欲しい程でした。質疑応答の間も欲しいくらいでしたが、祈りの細胞の時間でも、指導者は主ご自身ですから、お互は祈り合うだけです。終つての幻は関西と関東のアシユラムがもつと連帯して、一層大きな力となり、日本教界に貢献できるものとされるようにと祈りを与えられました。九州、四国のアシユラムの報告を拜見して、感謝すると共に、各ブロック毎にアシユラムをもつたけでなく、もつと交流して連帯を成長させる点も考えさせられます。日本アシユラムの肢々ですからね。

幻は更に東南アジアまでもと祈って居ます。香港にも行ってきましたからね。兎に角もつと力を与えられるために、お互に助け合い、祈り合う事によって、各自のアシユラムも亦強められること信じます。

御導きと御祝福を祈りつゝ。

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

### 関西アシユラム報告

香楮園教会

古河 治

第22回関西アシユラムは、9月14日(水)、15日(木・祝)大阪千里山シオンロッジにて開催された第22回関西アシユラムは、「献身」(ロマ12・1)を主題として29教会より65名(男26女39、教職17信徒48)が参加した。

今回の第22回からは新しいスタッフにて担当されることになり、実際に準備が始められたのは今年の二月からになった為、不行届きの面も多少有った様に思える。しかし、委員達が最も苦心したのは、アシユラムの原点に立ち返えることに有った。その為には先ず委員一同が日本クリスチャン・アシユラム連盟発行の「アシユラムの原則と実際」を学び直し、初心に戻って取組むことから始めた。

「献身」と言う主題を各委員が分担で、開会礼拝から閉会礼拝に至る各部門を一貫し、統一されたものにする為に、その内容を三つに分類して担当した。

「献身の基礎」(第一日目)

贖罪、十字架等

開会礼拝(辻中昭一師)

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシユラムの五大原則と守り方を平易に解説。

開心の時(小島十二師)

夜の祈り(川谷威郎師)

「献身の内容」(第二日目)

身己、身体、時、持物等の奉献

朝の祈り(金 徳成師)

黙想と分かち合い(吉田 暢師)

聖書講義(中島 彰師)

「献身の目的」

神、隣人、教会の為

充滿の時(杉田常夫師)

閉会礼拝(金 元治師)

用いるテキストも事前に調整して、成る可く内容がダブらない様に配慮した積りであったが、いざ蓋を開けてみると、必ずしも意図した様には展開していない面も有った様に見受けられた。ところがスタンレー先生お一人が指導者として一貫してなされたのとは違ふ難しさがあつたに思えた。又反面、クリスチャンアシユラムには真の指導者はイエス・キリスト御自身で、我々担当者は奉仕者に過ぎないと言ふことから考えれば、プログラムの流れが人間の思う通りに行かなかつたことがあつたとしても、それなりに評価されるかもしれないと反省させられている。

祈の小分団、これを私共は祈りのファミリーと言っているが、期間中に三回の祈りの分団があり、第一回目は、各自が自己紹介を兼ねて、開心の時に話せなかつたことも語り合い、二回目には各自の問題を述べ合

つて祈り合い、三回目には夫々の教会の問題の為に祈り合った。尚今回は参加者全員に祈りのカードを配り、各分団で書きを合せて、帰宅後も、お互いに祈り合える様にした。閉会礼拝も終了し、いよいよ解散と言う時に、スタンレー・ジョーンズ先生伝来の三本指を掲げ、「イエスは主なり」を声高らかに唱和してこれで第22回アシュラムが終わったのではなく、新しく第23回に向けてスタートしたことを誓い合った。

**ガリラヤ湖畔に建てる**

**博士記念館のその後は**

一九七一年ジョーンズ博士の晩年に立案されたガリラヤ湖畔ペニエルに在るY.M.C.A.退修センターに、博士記念館を建てる計画は、その後どうなったか、理事会の報告によればこの提案はY.M.C.A.がイスラエル政府からの建築許可を得られないため保留されていた。エルサレムY.M.C.A.の新任総主事は、既存の建物を改造新装をして、「ジョーンズ博士記念和解の家」と命名してはどうか、と提案してきた。理事会はこの件を協議して返事を作成中である。

**◆ 信友通信 ◆**

○田隈バプテスト教会川野直人師  
イエスは主である！  
神の平安をお祈りします。  
さて、此の度は九州アシュラムにお助け頂きまして、心より感謝しております。  
静かな中で、主の御旨を求めての二日間、本当に有意義にすごすことができて、一同感謝して居り、どうぞ今後共、九州アシュラムの群衆のためお祈り下さい。

○鳥飼バプテスト教会

鍋倉夏海姉

アシュラムのお働らきを心から有難うございました。  
「イエスは主なり」という意味を深く考える事ができました。  
「あなたはわたしに良く従ってきたが、なお捧げ切っていない部分がある」との例話も心に留めました。

**◆ 集会予告 ◆**

▼城北アシュラム

二月一日(休日)午前九時半  
ホーリネス教団池の上教会にて  
申込右 (九五一一) 四三三一一

▼城西アシュラム

三月二一日(休日)午前九時より  
神の国八王子北野教会にて  
申込先 日キ高円寺教会  
電話 (三三三〇) 〇〇五二

▼バルナバアシュラム

五月三日正午―五時一十分(全休)  
於古里福音の家  
申込先 岡谷市長地小荻  
石神勇児方  
電話 〇二六六(二八)一〇八八

▼関東アシュラム

九月一三日―一五日  
於古里福音の家  
申込先 小石川白山教会新原師  
電話 〇三(八一六)一七九七

**◆ 追悼 ◆**

森文次郎師(八八才)  
安藤記念教会名譽牧師

十一月十一日午前一時、腎不全のため横須賀の病院で天に召された。  
初期のアシュラム運動において、協力してくださった。

**◆ 会計報告 ◆**

四国アシュラム 一〇、〇〇〇円  
渕江淳一 一〇、〇〇〇円  
右前号以降の献金感謝(大石)

**新刊好評**

サトタル・アシュラム指導者  
D・P・タイトス著  
植村 俊雄 訳

**「御国を来らせ給え」**

神の国に就ての研究  
A 6判40頁定価二百円 70円  
スタンレーの後継者インドの  
タイトス師の名著

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著  
B6判 220頁  
神の然り 定価1200円 送料250円  
〈キリストに明け渡した人生〉  
海老沢宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

アシュラム生活の最良の友  
**アパ・ルーム**

(年6回刊行の日々の糧)  
国際的、超教派的、靈的な読物  
価200円 70円、年1,620円  
発行所(256)小田原市国府津3-11  
振替口座(東京)1-193834 アパ・ルーム  
日本語版は創刊以来36年続行中

▼アシュラムとは故スタンレー

ジョーンズ博士がインドの退修方式を

東京都目黒区中央町1-21-10  
日本クリスチャン・アシュラム連盟